

平成20年度

飯田市立病院概要

第14号



飯田市立病院

飯田市立病院 基本理念

**私たちは、地域の皆さんの健康を支え
信頼される医療を実践します**

飯田市立病院 基本方針

- 1 私たちは、安全・安心で良質な医療を提供します
- 2 私たちは、患者さんの権利と意思を尊重し、地域の皆さんに開かれた病院づくりを行います
- 3 私たちは、地域の保健、医療、福祉機関と密接に連携します
- 4 私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上と人間性豊かな医療人の育成に努めます
- 5 私たちは、公共性と経済性を考慮し、健全な病院経営に努めます

飯田市立病院 理念行動指針

私たちは、

誠意 熱意 創意

をもって医療を実践します

飯田市立病院

飯田市立病院は、患者さんの権利と意思を尊重し、信頼される良い医療を行うために、患者さんの権利と守っていただきたい責務を定めます。

1. 良質の医療を受ける権利

適切で良質で最善の医療を公平に継続して受ける権利があります。

また、必要な時にはいつでも、医療従事者の援助・助力を求める権利があります。

2. 選択の自由の権利

病院や医師を自由に選択し、または変更する権利があります。

3. 情報を知る権利

治療や症状について真実を知り、担当医師や受け持ち看護師より納得ができるまで十分に説明を受ける権利があります。その説明に対して納得がいけない場合、担当医師以外の医師に意見を聞く権利があります。

4. 自己決定の権利

十分な説明を受け、治療方法を自らの自由意思で選択し、治療を受ける権利と治療を受けることを拒否する権利があります。

「患者の権利と責任」

5. 機密保持をえる権利

診療や治療で医師や従事者が知りえた全ての患者情報、全てのプライバシーの機密保持をえる権利があります。

患者さん本人の承諾なくして、第三者に開示されない権利があります。

6. 尊重される権利

自ら病を克服しようとする主体として、医療の場において常にその生命・身体・人格が尊重される権利があります。

人間的な終末期ケアを受ける権利を有し、できる限り尊厳を保ち、安楽に終末期を迎えるためのあらゆる可能な助力を受ける権利があります。

7. 情報を提供する責務

医師をはじめとする医療提供者に対して、自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供する責務があります。

8. 医療に協力する責務

全ての患者さんが等しく上記の権利を行使するためにも、病院の規則を守り、提供される医療に協力して、できるだけ健康的な生活習慣を身につける責任があります。

また、他の患者さんの治療に支障を与えないように配慮する責務があります。

平成 20 年 11 月 1 日改訂

目 次

1. 概 要	5
2. 飯田市立病院組織図	8
3. 沿 革	9
4. 飯田市立病院委員会等組織表	10
5. 飯田市立病院の施設の特色	11
6. 職員に関する事項	12
7. 平成19年度飯田市立病院事業報告	
(1) 概 況	13
(2) 患者の年度別状況	16
(3) 平成19年度企業債及び一時借入金の状況	16
(4) 平成19年度飯田市立病院事業決算報告書	18
(5) 飯田市立病院事業損益計算書	20
(6) 飯田市立病院事業剰余金計算書	21
(7) 飯田市立病院事業貸借対照表	22
(8) 経営分析に関する調	24
(9) 財務分析に関する調	27
8. 業務の状況	
(1) 飯田市立病院患者動向統計	29
(2) 各科業務量	31

1. 概 要

・所在地 飯田市八幡町438番地

・開設年月日 当初 昭和26年3月12日 開設許可
昭和26年12月3日 診療開始
新病院 平成2年7月4日 開設許可
平成4年10月25日 診療開始

・病床数 一般病床 403床 (うち救急ICU 2床、ICU 4床、NICU 3床)
感染症病床 4床 (平成11年4月1日から)

・診療科目 31科

内 科 (昭和26年12月)	循環器内科 (平成20年4月 医療法施行令改正 に伴う科名変更等)
外 科 (昭和27年6月)	
整形外科 (昭和29年6月)	呼吸器内科 (")
麻 酔 科 (昭和48年4月)	消化器内科 (")
小 児 科 (昭和49年1月)	内分泌内科 (")
脳神経外科 (昭和51年5月)	糖尿病代謝内科 (")
神経内科 (昭和51年12月)	腎臓内科 (")
泌尿器科 (昭和53年4月)	消化器外科 (")
形成外科 (昭和54年9月)	乳腺外科 (")
眼 科 (昭和63年10月)	病理診断科 (")
呼吸器外科 (平成元年4月)	臨床検査科 (")
心臓血管外科 (")	救 急 科 (")
産 婦 人 科 (")	
耳鼻いんこう科 (平成元年10月)	
放 射 線 科 (平成4年10月)	
皮 膚 科 (平成5年4月)	
歯 科 (平成7年7月)	
リウマチ科 (平成9年1月)	
リハビリテーション科 (")	
歯科口腔外科 (")	

・各種指定

地域がん診療連携拠点病院
 地域医療支援病院
 臨床研修病院
 歯科医臨床研修施設
 臨床修練指定病院
 新型救命救急センター
 地域周産期母子医療センター
 災害拠点病院
 エイズ治療拠点病院
 労災保険指定医療機関
 外科後処置診療指定医療機関
 日本神経学会認定医制度教育施設
 日本腎臓学会専門医研修施設
 日本脳卒中学会専門医研修教育施設
 日本乳癌学会認定施設
 日本消化器外科学会専門医修練施設
 日本脳神経外科学会専門医訓練場所
 日本小児科学会認定医制度研修施設
 日本核医学会認定医教育病院
 日本泌尿器科学会専門医教育施設
 日本産婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設
 日本ペインクリニック学会指定研修施設
 日本糖尿病学会認定教育施設
 日本超音波医学会認定専門医研修施設
 日本心血管インターベンション学会認定研修関連施設
 日本消化器病学会専門医制度認定施設
 日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設
 日本老年医学認定施設
 日本臨床細胞学会認定施設
 日本医学放射線学会専門医修練協力機関
 日本救急医学会専門医指定施設
 日本周産期・新生児医学会専門医研修施設
 日本臨床腫瘍学会認定研修施設

財団法人日本医療機能評価機構による
 病院機能評価「一般病院」
 更新認定（平成17年1月24日）

第二種感染症指定医療機関
 救急指定病院
 長野県心疾患基幹病院
 原子爆弾被爆者医療等指定医療機関
 指定養育医療機関
 更生医療指定医療機関
 日本内科学会内科専門医教育関連病院
 日本消化器内視鏡学会認定指導施設
 日本呼吸器学会認定医制度認定施設
 日本外科学会認定医制度修練施設
 日本整形外科学会専門医制度研修施設
 日本呼吸器外科学会専門医制度関連施設
 日本胸部外科学会認定医制度関連施設
 日本眼科学会専門医制度研修施設
 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
 日本麻酔学会麻酔指導病院
 日本形成外科学会専門医制度認定施設
 日本病理学会登録施設
 日本循環器学会循環器専門医研修施設
 日本消化器病学会専門医制度認定施設
 日本外科学会外科専門医制度修練施設
 日本リュウマチ学会教育施設
 日本歯科口腔外科専門医制度研修機関
 日本内分泌代謝科認定教育施設
 日本皮膚科学会認定専門医研修施設
 日本老年医学会認定施設
 日本がん治療認定医機構認定研修施設
 マンモグラフィ検診施設

・施設の概要

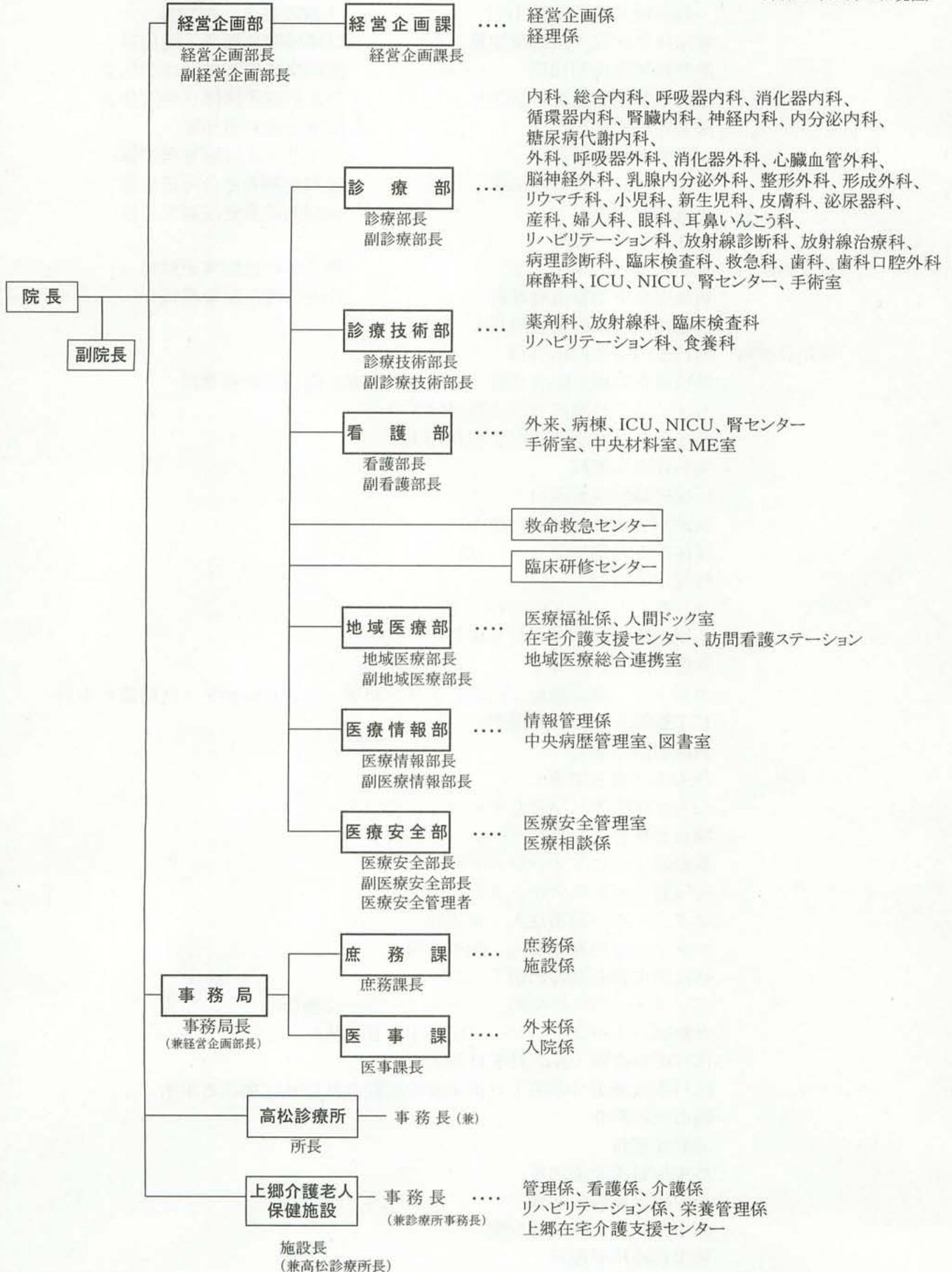
敷地面積	66,419.39 m ²
建築面積	
本館	延べ 25,803.51 m ² 鉄骨鉄筋コンクリート造 (一部鉄筋コンクリート造地下1階 地上6階)
附属棟等	501.26 m ² 鉄骨鉄筋コンクリート造 (一部鉄筋コンクリート造地下1階 地上1階) 206.33 m ² 車庫等付属家
看護師宿舎	延べ 393.60 m ² 鉄筋コンクリート造3階建1棟15戸
医師住宅	木造1戸建 17戸
職員宿舎	380.70 m ² 鉄筋コンクリート造3階建1棟9戸
看護師養成実習室	413.62 m ² 鉄筋コンクリート造2階のみ
感染症病舎	245.48 m ² 鉄筋コンクリート造1階のみ
場外離着陸場	2,755.89 m ²
臨床研修棟	606.31 m ² 鉄骨造3階建
院内保育所	木造1戸建 敷地 516.84 m ² 建物 139.9 m ²

・施設基準の概要(H20.10.1 現在)

基本診療料	地域歯科診療支援病院歯科初診料 一般病棟入院基本料 10:1 臨床研修病院入院診療加算 診療録管理体制加算 重症者等療養環境特別加算 栄養管理実施加算 褥瘡患者管理加算 ハイリスク分娩管理加算 退院調整加算 急性期脳卒中加算	歯科外来診療環境体制加算 入院時医学管理加算 妊産婦緊急搬送入院加算 医師事務作業補助体制加算 がん診療連携拠点病院加算 医療安全対策加算 ハイリスク妊娠管理加算 後期高齢者総合評価加算 後期高齢者退院調整加算
特定入院料	救命救急入院料 1. 2 新生児集中治療室管理料 亜急性期入院医療管理料 1	特定集中治療室管理料 小児入院医療管理料 3
特掲診療料	開放型病院共同指導料 地域連携診療計画管理料、地域連携診療計画退院時指導料 ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ) ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅱ) 薬剤管理指導料 医療機器安全管理料 1. 2 血液細胞核酸増幅同定検査 検体検査管理加算 (Ⅰ)(Ⅲ) 神経学的検査 コンタクトレンズ検査料 (Ⅰ) 小児食物アレルギー負荷検査 画像診断管理加算 2 ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影 CT撮影及びMR I撮影 無菌製剤処理料 外来化学療法加算 1 心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ) 脳血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ) 運動器リハビリテーション料(Ⅰ) 呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ) エタノールの局所注入 甲状腺 エタノールの局所注入 副甲状腺 経皮的中隔心筋焼灼術 ペースメーカー移植術、ペースメーカー交換術 大動脈バルーンパンピング法 (IABP法) 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術 医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術 輸血管理料Ⅱ 麻酔管理料 外来放射線治療加算 放射線治療専任加算 高エネルギー放射線治療 補綴物維持管理料	
入院時食事療養等	入院時食事療養 (1)	

2. 飯田市立病院組織図

(平成20年12月 1日現在)



3. 沿革

昭和26年 3月	病院開設許可(病床数一般25床、結核9床)
26年12月	開院
40年 7月	増改築(本館) 竣工(鉄筋コンクリート地下1階)
49年 3月	中央診療棟竣工(鉄筋コンクリート地下1階、地上2階)
52年 3月	増改築(新館) 竣工(鉄筋コンクリート地下1階、地上4階、病床数一般304床、結核61床)
54年 9月	新病院建設マスタープラン作成依頼
56年 7月	同報告書完成
56年11月	病院整備研究委員会設置
59年 4月	結核病床廃止(病床数一般304床)
61年12月	病院建設研究室設置
63年12月	新病院建設基本設計、実施設計発注
平成元年11月	総合病院となる
2年 2月	新病院建設設計完了、敷地造成工事着手
2年 7月	新病院開設許可(病床数一般50床増床し、354床に変更) 建設工事着手
4年 7月	新病院本館工事終了
4年 9月	新病院竣工
4年10月	開院
7年 4月	伝染病隔離病舎工事終了
7年 7月	看護婦養成実習室竣工
9年 1月	災害拠点病院指定
9年 3月	エイズ治療拠点病院指定
10年 3月	6階東病棟増築竣工(病床数49床増床し、403床になる) 外来棟増築竣工
10年 9月	検査手術棟増築竣工
11年 6月	リハビリ棟増築竣工
12年 6月	高圧酸素治療室整備
8月	場外離着陸場竣工
9月	地域周産期母子医療センター指
13年 3月	MRI室整備
10月	ヘリポート油庫設置
12月	蒸気ボイラー改修 在宅介護支援センター(別棟)新築
14年 3月	救急治療室増改築 結核患者収容個室整備
15年 9月	救急外来大屋根整備
12月	駐車場ゲート運用開始
16年 2月	入院電子カルテ運用開始
4月	外来電子カルテ運用開始
7月	地域医療支援病院承認
17年 1月	日本医療機能評価機構 認定病院更新
4月	臨床研修棟整備
18年 7月	PET-CT整備
10月	新型救命救急センター指定
19年 1月	がん診療連携拠点病院指定
3月	高松分院閉院
4月	高松診療所開設
20年 4月	院内保育所開設

4. 飯田市立病院委員会等組織表

	委員会名	区分	運営内容	事務局	開催頻度
病院事業運営会議	臨床研修管理委員会	教育編集系	研修医制度の充実	庶務課	随時
	医誌編集委員会		医誌編集	庶務課	随時
	広報編集委員会		広報の編集	地域連携室	4月に1回
経営企画会議	教育研修委員会		教育研修の企画	庶務課	随時
	図書室運営委員会		図書室の運営	病歴室	月1回
経営会議	がん診療連携拠点病院運営委員会	各種業務系	がん診療体制の整備	庶務課	随時
	緩和ケア委員会		緩和ケアについての研究	看護部	月1回
	緩和ケアチーム		緩和ケアの実践	庶務課	週1回
	癌化学療法検討委員会		癌化学療法の治療計画の検討	薬剤科	随時
	救急医療委員会		救急医療体制の整備	庶務課	月1回
	医療安全推進委員会		医療事故防止対策	医療安全室	月1回
	医療サービス推進委員会		総合的な患者サービス対策	委員内	月1回
	栄養皮膚ケア委員会		院内褥瘡対策	経営企画課	月1回
	医薬材料・機器購入等審査委員会		医療材料・機器の適切な購入	経営企画課	随時
	物品購入検討委員会		物品の適切な購入	経営企画課	随時
	病院機能評価・経営改善委員会		機能評価対策	庶務課	随時
	手術室運営委員会		手術室の運営	手術室	随時
	集中治療室運営委員会		ICUの運営	ICU	月1回
	薬事会議		薬の採用審査	薬剤科	年3回
	産業廃棄物適性委員会		感染性廃棄物の適正な廃棄	検査科	随時
	診療報酬請求審査検討委員会		診療報酬の適切な請求審査	医事課	月1回
	医療情報システム委員会		総合情報システム管理	情報管理係	月1回
	診療情報管理委員会		診療録の管理	病歴室	月1回
	診療記録監査委員会		診療録の監査	病歴室	年1回
	人間ドック委員会		人間ドックの運営	医療福祉係	随時
	在宅ケア委員会		退院後の患者・家族指導	医療福祉係	月1回
	倫理委員会		医療倫理の判定	庶務課	年2回
	脳死判定委員会		脳死判定	庶務課	随時
	防火防災対策委員会		防火防災対策	庶務課	年1回
	ボランティア委員会		患者へのボランティア	庶務課	随時
	病床管理委員会		病床の有効運用	医事課	随時
	リハビリテーション運営委員会		リハビリテーションの機能的運営	リハビリ科	随時
	院内保育所運営委員会		院内保育所の運営	庶務課	随時
	院内感染防止対策委員会		院内の感染防止	庶務課	月1回
	治験審査委員会		治験の審査	薬剤科	随時
	輸血療法委員会		輸血の運営	検査科	随時
	臨床検査適正化委員会		検査精度の管理	検査科	随時
	放射線安全委員会		放射線の安全運営	放射線科	随時
	栄養管理会議		栄養管理	食養科	随時
	医療ガス安全管理委員会		医療ガスの安全管理	庶務課	年1回
	相談窓口担当者会		各種相談の対応	医事課	随時
	地域医療支援病院運営委員会		地域医療支援病院運営	地域連携室	随時
	労働安全衛生委員会		労働環境の監視	庶務課	4月に1回
	個人情報保護委員会		個人情報規定管理の運用	病歴室	随時
	人事委員会		職員の採用、勤務条件等の検討	庶務課	随時
	部長会議		診療部の各部長会	診療部	週1回
	医局会		医局全体会	診療部	月1回
診療技術部科長会議	診療技術部の各科長会	技術部	週1回		
看護部会議	看護部で組織する各種会議	看護部	第1,3水曜日など		
地域医療部会議	地域医療部の運営	地域医療部	随時		
事務局会議	事務局の運営	庶務課	随時		

5. 飯田市立病院の施設の特徴

- 飯伊医療圏の中核病院として、二次医療の全部と発生の多い疾患の第三次医療（高度医療）を提供するため、最新型の医療機器を導入し、高次医療病院として充実させました。
- 当医療圏内で最高の機能を備えた病院となり、他の医療機関との機能分担と相互連携によって住民の健康を守る中心的役割を果たしています。
- 段丘上の恵まれた自然環境の中に立地しています。明るく清潔な院内とし、患者さんが希望をもって治療に専念できるよう待合室、病室、デイルームなど施設全体に工夫がなされています。
- 広い敷地を活用して1階を広くとり、ほとんどの診療が1階で受けられるように外来診療室、放射線診断室、検査室等が配置され、患者さんにわかりやすく、職員も働きやすいようにレイアウトしています。
- 病院施設は安全性が肝心です。施設全体に安全施設や防災対策が施され、院内の感染防止対策も考慮されています。

主な医療設備と医療機器

放射線治療機器	リニアック装置、ラルストロン装置、治療計画装置
放射線診断機器	PET-CT、超電導MRI装置、X線TV装置、X線CT装置、血管撮影装置、外科用X線TV装置、ガンマカメラ装置、骨密度測定装置、超音波診断装置、CR装置
検査用機器	生化学自動分析装置、自動血液測定分析装置、自動凝固検査器、電子顕微鏡装置、顕微鏡写真装置、RI測定装置、全自動血球分析装置、肺機能測定装置、顕微鏡画像解析転送システム、全自動糖分析装置、運動負荷試験システム 自動採血管準備システム、自動搬送システム、自動血液培養装置
調剤製剤用機器	調剤監視システム、錠剤自動分包器、散剤自動分包器、予製用自動分包装置、クリーンベンチ、薬液用高圧蒸気滅菌装置
リハビリテーション機器	ハバートタンク、牽引装置、作業療法室
手術室・中央材料室機器	手術室8（うち無菌手術室2）、術者呼気排除装置、手術用顕微鏡、患者監視システム、画像モニタリングシステム、高圧蒸気滅菌装置、プラズマ滅菌装置、EOG除去装置、シャワー式自動洗浄装置、超音波洗浄装置、逆浸透水処理供給システム、人工心肺装置、ポリグラフ、電気メス、マイクロ波手術器
集中治療室機器	患者監視システム、熱傷用ベッド、人工呼吸器
腎センター機器	人工透析装置16
その他診断・治療用機器	電子内視鏡装置、超音波内視鏡装置、循環器用超音波診断装置、保育器、加速度回転装置、体外衝撃波結石破碎装置、YAGレーザー装置、超音波白内障手術装置、硝子体手術装置、色素性疾患治療用ルビーレーザー装置、単純性血管腫治療用レーザー装置、歯科治療ユニット、体外受精システム、血液照射装置、マルチカラーレーザー凝固装置、高気圧酸素治療装置、乳腺バイオプシー装置
病棟看護用機器	患者監視装置、リフト式入浴装置、寝具等EOG消毒装置、新生児室、分娩室、沐浴室、電解酸性水システム生成器

6. 職員に関する事項

(1)職種別職員の状況

H20.4.1現在

職 種	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
医 師	68(5)	76(10)	84(13)	88(17)	90(14)
薬 剤 師	15	15	15	17	18
診 療 放 射 線 技 師	15	15	16	16	17
臨 床 検 査 技 師	27	24	25	25	26
理 学 療 法 士	11	11	10	11	12
作 業 療 法 士	4	4	4	5	5
視 能 訓 練 士	3	1	2	3	2
言 語 聴 覚 士	3	2	2	3	4
歯 科 衛 生 士	2	2	3	3	4
栄 養 士	4	5	5	5	7
調 理 員	25	26	26	25	26
看 護 師	258	257	258	275	297
准 看 護 師	35	26	27	29	28
助 産 師	12	11	16	16	17
保 健 師	2	2	2	1	1
臨 床 工 学 技 士	1	1	2	4	6
看 護 助 手	24	25	27	29	38
事 務	58	54	57	58	64
そ の 他	4	3	4	4	5
合 計	571	560	585	617	667

()は初期研修医内数

7. 平成19年度飯田市立病院事業報告

1 概況

(1) 総括事項

平成14年からの度重なる診療報酬の引き下げや医師不足などにより、地方の自治体病院の経営状況が非常に厳しくなっています。特に、地方交付税削減により自治体本体の財政が厳しい中、平成18年4月の診療報酬が3.16%減と過去最大の引き下げになったことは、自治体病院の経営に大きな影響を与えました。

飯田市立病院の経営状況は、平成14年度以降、病床利用率の低迷や入院単価の落ち込みなどにより収益が減少する一方、病院施設整備の減価償却費やシステム開発等に係わる繰延勘定償却などの固定費により、多額の欠損金を計上していました。そこで、経営企画部を設置し経営健全化に向けての取組を強化してきたところ、平成18年度においては、病床利用率の向上により収益が増加し、健全経営に向けて踏み出すことができました。

平成19年度の決算状況では、前年度に比較して病床利用率が低下しましたが、救命救急患者の受け入れや手術件数の増などにより入院・外来の診療単価が上昇し、医業収益としては3.4%の増となりました。一方、医業費用については、診療体制の充実に向け看護師や助産師、コメディカルを積極的に採用したことによる人件費の増や、原油高に伴う光熱水費等の経費の増、医療機器の減価償却費の増により、全体で3.7%増の伸びとなっています。医業損益としては1億5千2百万円の損失。経常損益としては2億4千8百万円の損失となり、前年度と比較すると約7千7百万円の改善が図られています。地域医療を取り巻く環境は非常に厳しい状況にありますが、医療の充実と健全な病院経営の両立に向け前進することができました。

今後においても、地域医療の充実や患者中心の医療を進め、地域に信頼される病院となることが経営健全化に結びつく最も重要なことであり、市民が安心して利用できる病院を常に念頭に、安全・安心で良質な医療の提供に向けて全職員一丸となって取り組んでまいります。

医師の確保については全国的に厳しい状況で、特に地方の総合病院の勤務医不足が著しく、また、診療科による偏在も見られ、麻酔科、産科、外科などの医師不足が深刻な状況になってきています。当地域においてもその傾向が顕著に現れています。当地域のみで解決できる問題ではありませんが、地域医療に支障が出ないように医療機関や関係機関が連携しての取組を進めてまいります。

産婦人科については、平成20年4月より当地域における産婦人科医師が減員（飯田市立病院、下伊那赤十字病院）となるため、苦渋の選択として市立病院の里帰り出産等を制限すると表明しました。その後、信州大学の配慮により市立病院へ産婦人科医師1名が派遣されることになり、市立病院としては、月70件の分娩件数を目安に里帰り出産の制限を一部解除することにしました。また、産科外来から離れていることが大きな課題であった助産師外来については、産科外来の近くに移設し、妊婦の負担軽減を図りました。診察室3室と検査室を設け、検査機器等を整備し、専任の助産師と臨床検査技師が妊婦健診を行う体制を整えました。

眼科及び心臓血管外科については、医師の退職により診療を制限せざるを得ない状況となりました。関係機関に対し医師の派遣を積極的に要請しましたが、厳しい状況となっています。

研修医の確保については、研修プログラムの充実などに取り組んでまいりました。平成19年度

は、前年度より4名多い17名を受け入れています。また、初期臨床研修終了後、さらに専門領域を深めるための後期臨床研修医として医師2名が当院に勤務することになりました。今後も、研修医を積極的に受け入れ地域医療を担う医師の育成に取り組んでまいります。

救命救急センターについては、専門の医師や看護師を配置して救急患者を積極的に受け入れています。休日夜間に受診する軽度の症状の患者が増加しており、重い症状の患者の診療に影響が出たり、医師の負担が多くなっています。そこで、飯伊包括医療協議会と連携し、救急医療機関の受診の仕方について周知しました。

平成19年1月に、県内6施設の「がん診療連携拠点病院」の一つに指定され、がん患者に質の高い医療を提供していくための取組を進めています。がん診療の専門医等の育成や関係スタッフの研修教育、関係医療機関との連携やデータ分析に取り組むとともに、院内の緩和ケアチームが活動しました。

救命救急センターやがん診療連携拠点病院としての機能の充実、手狭になっている診療室等の解消、入院・外来患者が院内で過ごす時間の快適性向上のため、増改築の計画を進めました。

医療安全対策や患者サービスの向上、接遇の改善などについて、各委員会を中心に積極的に取り組みました。ご意見カードで寄せられた要望・意見や患者満足度調査などの客観的な指標により検証しながら、よりよいサービスの向上を推進しています。また、「患者さんの個人情報」についても、適切に保護し管理することを進めています。

平成19年4月から高松診療所を開設し、平日の午前中に診療を行いました。1日約30人の患者が受診しました。

ア 施設の状況

(ア) 本年度取得した施設等の概要は次のとおりです。 (金額は消費税抜)

a 建物及び附属設備は	助産師外来移設整備工事 他	29,440,000 円
b 構築物は	院内託児所整備工事	11,510,000 円
c 医療器械器具及び備品は	デジタルX線テレビ装置 他	290,933,805 円
d 一般器具及び備品は	医療事務系ファイルサーバー 他	4,018,070 円

(イ) 本年度除却した施設等の概要は次のとおりです。 (金額は消費税抜)

a 建物及び附属設備は	旧高松分院本館 他	1,935,196,994 円
b 構築物は	旧高松分院鳩防除工事 他	33,423,114 円
c 医療器械器具及び備品は	X線テレビ装置 他	523,183,130 円
d 一般器具及び備品は	屍体冷蔵庫 他	19,911,062 円

イ 患者の状況 (前年度比較は市立病院(本院)との比較)

入院患者数は、延べ123,188人(前年度対比97.2%)、一日平均336.6人、病床利用率83.5%、前年度に比較して、延べで3,597人、一日平均10.8人、利用率では2.7ポイント減少しました。また、平均在院日数は13.4日でした。

高松診療所を含む外来患者数は、延べ247,327人(前年度対比99.2%)、一日平均1,009.5人で、前年度に比較して、延べで2,104人、一日平均8.6人の減少となりました。なお、感染症入院患者数は、昨年に引き続き0人でした。

ウ 経理の状況 (前年度比較は市立病院(本院)との比較)

(ア) 収益的収入(損益計算書)

入院収益は5,805,431,722円、外来収益が2,212,381,162円で、前年度に比較し、入院では125,989,194円(2.2%)、外来では76,538,266円(3.6%)の増加となりました。患者1人1日当たりの診療収入(高松診療所を含む)は、入院47,131円、外来8,945円となり、前年度に比較し入院では2,335円(5.2%)、外来では382円(4.5%)増加しました。

病院事業収益全体では前年度に比較し、324,035,813円(3.6%)増加の9,436,907,725円となりました。

(イ) 収益的支出(損益計算書) (前年度比較は市立病院(本院)との比較)

病院事業費用は前年度に比較し給与費で168,576,077円(3.7%)、材料費で99,885,158円(4.9%)、経費で66,942,570円(6.3%)、企業債利息で20,866,063円(5.0%)増加、減価償却費で9,325,721円(1.2%)、繰延勘定償却で94,271,573円(24.0%)減少しました。

病院事業費用全体では前年度に比較し、247,035,166円(2.6%)増加の9,685,061,799円となりました。

この結果、経常損益で248,154,074円の損失となりました。

(ウ) 資本的収入

企業債は、医療機器等の整備に伴う323,700,000円、企業債償還元金及び建設改良費等を繰入項目とする他会計負担金は461,350,000円、国県補助金は11,118,000円、寄附金は200,000円で、資本的収入総額は796,368,000円でした。

(エ) 資本的支出

医療機器等整備等の建設改良費は352,696,967円、企業債償還元金は繰上償還の71,316,893円を含め1,196,139,676円、退職給与金は165,470,132円、開発費は32,391,765円で、資本的支出総額は1,746,698,540円でした。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額950,330,540円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額725,322円及び過年度分損益勘定留保資金949,605,218円で補てんしました。

(2) 患者の年度別状況

区分	年度	病床数	診療日数	患者延数	一日平均患者数
入院	15	403	366	115,083	314.4 人
	16	403	365	118,467	324.6
	17	403	365	120,719	330.7
	18	403	365	126,785	347.4
	19	403	366	123,188	336.6
外来	15		246	266,977	1085.3 人
	16		243	254,831	1048.7
	17		244	245,793	1007.3
	18		245	249,431	1018.1
	19		245	240,436	981.4
			6,891 (高松)	28.1 (高松)	

(3) 平成19年度企業債及び一時借入金の状況

ア 企業債の概況

区分	前年度末残高	本年度借入高	本年度償還額	本年度末残高	備考
企業債	円 11,327,606,099	円 323,700,000	円 1,196,139,676	円 10,455,166,423	財政融資資金 八十二銀行 長野県信連 みなみ信州農業協同組合 飯田信用金庫 簡易生命保険積立金 公営企業金融公庫
	(内訳) 市立10,533,022,645 高松 794,583,454		(うち繰上償還) 71,316,893		

イ 一時借入金の概況

該当無し

(4) 平成19年度飯田市病院事業決算報告書

収益的収入及び支出

[収入]

区 分	予 算 額		
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額に係る財源充当額
第1款 病院事業収益	円 9,483,000,000	円 11,779,000	円 0
第1項 医 業 収 益	8,563,000,000	△ 96,000	0
第2項 医 業 外 収 益	920,000,000	11,875,000	0

[支出]

区 分	予 算 額					
	当初予算額	補正予算額	予備費支出額	流用増減額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額	小 計
第1款 病院事業費用	円 10,870,000,000	円 95,046,000	円 0	円 0	円 0	円 10,965,046,000
第1項 医 業 費 用	9,018,500,000	92,000,000	0	0	0	9,110,500,000
第2項 医 業 外 費 用	752,527,000	3,046,000	0	0	0	755,573,000
第3項 特別損失	1,098,973,000	0	0	0	0	1,098,973,000

資本的収入及び支出

[収入]

区 分	予 算 額			
	当初予算額	補正予算額	小 計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額
第1款 資本的収入	円 1,054,694,000	円 △ 46,607,000	円 1,008,087,000	円 0
第1項 企 業 債	461,900,000	△ 115,000,000	346,900,000	0
第2項 負 担 金	466,094,000	7,000,000	473,094,000	0
第3項 国 庫 補 助 金	7,200,000	0	7,200,000	0
第4項 県 補 助 金	4,500,000	△ 582,000	3,918,000	0
第5項 出 資 金	115,000,000	61,775,000	176,775,000	0
第6項 寄 附 金	0	200,000	200,000	0

[支出]

区 分	予 算 額					
	当初予算額	補正予算額	流用増減額	小 計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費 繰越額
第1款 資本的支出	円 1,851,623,000	円 112,181,000	円 0	円 1,963,804,000	円 0	円 0
第1項 建設改良費	590,800,000	△ 26,025,000	0	564,775,000	0	0
第2項 企業債償還金	1,124,823,000	71,317,000	0	1,196,140,000	0	0
第3項 退職給与金	100,000,000	65,471,000	0	165,471,000	0	0
第4項 開 発 費	36,000,000	1,418,000	0	37,418,000	0	0

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 950,330,540円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支

合 計	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
円 9,494,779,000	円 9,455,984,898	円 △ 38,794,102	
8,562,904,000	8,646,633,770	83,729,770	(うち仮受消費税 17,588,269 円)
931,875,000	809,351,128	△ 122,523,872	(うち仮受消費税 1,488,994 円)

地方公営企業 法第26条第2 項の規定による 繰越額	合 計	決 算 額	地方公営企業 法第26条第2 項の規定による 繰越額	不 用 額	備 考
円 0	円 10,965,046,000	円 10,681,973,443	円 0	円 283,072,557	
0	9,110,500,000	8,849,882,646	0	260,617,354	(うち仮払消費税 68,649,557円)
0	755,573,000	759,296,419	0	△ 3,723,419	(うち仮払消費税 45,942円) (うち現金の支出を伴わない経費で予算額を 超過して支出した額 5,151,571円)
0	1,098,973,000	1,072,794,378	0	26,178,622	

継続費通次繰越額 に係る財源充当額	合 計	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
円 0	円 1,008,087,000	円 796,368,000	円 △ 211,719,000	
0	346,900,000	323,700,000	△ 23,200,000	
0	473,094,000	461,350,000	△ 11,744,000	
0	7,200,000	7,200,000	0	
0	3,918,000	3,918,000	0	
0	176,775,000	0	△ 176,775,000	
0	200,000	200,000	0	

合 計	決 算 額	翌 年 度 繰 越 額			不 用 額	備 考
		地方公営企業法 第26条の規定による 繰越額	継続費 通次 繰越額	合 計		
円 1,963,804,000	円 1,746,698,540	円 176,775,000	円 0	円 176,775,000	円 40,330,460	
564,775,000	352,696,967	176,775,000	0	176,775,000	35,303,033	(うち仮払消費税 16,795,092 円)
1,196,140,000	1,196,139,676	0	0	0	324	
165,471,000	165,470,132	0	0	0	868	
37,418,000	32,391,765	0	0	0	5,026,235	(うち仮払消費税 1,542,465 円)

調整額 725,322円及び過年度分損益勘定留保資金 949,605,218円で補てんした。

(5) 飯田市病院事業損益計算書

(単位:円)

	17年度	18年度	19年度
1 医業収益	7,632,194,550	8,347,120,075	8,629,045,501
(1) 入院収益	5,249,100,161	5,679,442,528	5,805,431,722
(2) 外来収益	2,011,031,781	2,135,842,896	2,212,381,162
(3) その他の医業収益	372,062,608	531,834,651	611,232,617
2 医業費用	8,251,183,160	8,470,724,119	8,781,233,089
(1) 給与費	4,471,672,567	4,512,040,262	4,680,616,339
(2) 材料費	1,927,470,958	2,039,110,950	2,138,996,108
(3) 経費	1,049,410,672	1,069,638,545	1,136,581,115
(4) 減価償却費	761,968,148	786,842,267	777,516,546
(5) 資産減耗費	9,146,135	32,942,929	12,667,528
(6) 研究研修費	31,514,680	30,149,166	34,855,453
医業損失	618,988,610	123,604,044	152,187,588
3 医業外収益	879,145,944	765,751,837	807,862,224
(1) 受取利息配当金	1,494,720	2,721,678	9,279,445
(2) 他会計負担金	602,110,000	595,466,000	599,568,000
(3) 財産収入	7,634,479	7,009,474	6,254,724
(4) 他会計補助金	96,700,000	95,100,000	111,600,000
(5) 国庫補助金	17,060,000	20,227,000	29,381,000
(6) 県補助金	3,870,000	4,425,000	10,473,000
(7) その他医業外収益	150,276,745	40,802,685	41,306,055
4 医業外費用	951,529,048	967,302,514	903,828,710
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	435,564,815	418,873,440	439,739,503
(2) 繰延勘定償却	369,499,089	392,449,562	298,177,989
(3) 患者外給食材料費	879,663	946,119	920,151
(4) 雑損失	145,585,481	155,033,393	164,991,067
3 - 4	△ 72,383,104	△ 201,550,677	△ 95,966,486
経常損失	691,371,714	325,154,721	248,154,074
5 特別利益	0	0	0
(1) 固定資産売却益	0	0	0
(2) 過年度損益修正益	0	0	0
(3) その他特別利益	0	0	0
6 特別損失	0	0	1,072,794,378
(1) 固定資産売却損	0	0	0
(2) 過年度損益修正損	0	0	0
(3) 高松分院固定資産等除却損	0	0	1,072,794,378
5 - 6	0	0	△ 1,072,794,378
当年度純損失	691,371,714	325,154,721	1,320,948,452
前年度繰越欠損金	804,288,610	1,495,660,324	1,997,543,432
当年度未処理欠損金	1,495,660,324	1,820,815,045	3,318,491,884

*平成19年度の前年度繰越欠損金には高松分院の繰越欠損金176,728,387円を合算してある。

(6) 飯田市病院事業剰余金計算書

(単位:円)

	17年度	18年度	19年度
[利益剰余金の部]			
1 減債積立金			
1 前年度末残高	0	0	0
2 前年度繰入額	0	0	0
3 当年度処分額	0	0	0
4 当年度残高	0	0	0
積立金合計	0	0	0
2 欠損金			
1 前年度未処理欠損金 前年度未処分利益剰余	804,288,610	1,495,660,324	1,997,543,432
2 前年度欠損金処理額 前年度利益剰余金処分 繰越欠損金年度末残高 繰越利益剰余金年度末残	0	0	0
3 当年度純損失 当年度未処理欠損金	691,371,714 1,495,660,324	325,154,721 1,820,815,045	1,320,948,452 3,318,491,884
[資本剰余金の部]			
1 受贈財産評価額			
1 前年度末残高	32,123,300	32,123,300	33,536,550
2 前年度処分額	0	0	0
3 当年度発生額	0	0	0
4 当年度処分額	0	0	0
5 当年度末残高	32,123,300	32,123,300	33,536,550
2 寄附金			
1 前年度末残高	15,483,438	16,483,438	23,857,718
2 前年度処分額	0	0	0
3 当年度発生額	1,000,000	0	200,000
4 当年度処分額	0	0	0
5 当年度末残高	16,483,438	16,483,438	24,057,718
3 補助金			
1 前年度末残高	700,601,000	806,223,000	925,929,300
2 前年度処分額	0	0	0
3 当年度発生額	105,622,000	13,000,000	11,118,000
4 当年度処分額	0	0	0
5 当年度末残高	806,223,000	819,223,000	937,047,300
4 その他資本剰余金			
1 前年度末残高	4,217,035,318	4,518,910,318	5,202,728,728
2 前年度処分額	0	0	0
3 当年度発生額	301,875,000	308,923,000	461,350,000
4 当年度処分額	0	0	0
5 当年度末残高	4,518,910,318	4,827,833,318	5,664,078,728
翌年繰越資本剰余金	5,373,740,056	5,695,663,056	6,658,720,296

*平成19年度の前年度未処理欠損金は高松分院の未処理欠損金176,728,387円を合算してある。

(7) 飯田市病院事業貸借対照表

(単位:円)

	17年度	18年度	19年度
[資 産 の 部]	17,597,002,632	17,509,344,382	16,952,924,322
1 固定資産	13,330,655,903	13,094,425,057	12,928,244,556
(1) 有形固定資産	13,328,899,819	13,092,668,973	12,925,736,019
イ 土 地	4,284,956,840	4,284,956,840	4,399,020,501
ロ 建物及び附属設備	7,354,589,540	6,983,537,603	6,760,472,609
ハ 構築物	132,868,492	116,778,082	113,808,474
ニ 医療機械器具及び備品	1,490,642,842	1,649,078,509	1,604,358,425
ホ 一般器具及び備品	59,710,711	54,368,889	44,935,486
ヘ 車輛及び運搬具	6,131,394	3,949,050	3,140,524
ト 建設仮勘定	0	0	0
(2) 無形固定資産	1,756,084	1,756,084	2,508,537
イ 電話加入権	1,756,084	1,756,084	1,934,444
ロ 地上権	0	0	574,093
(3) 投資	0	0	0
イ 長期貸付金	0	0	0
ロ その他投資	0	0	0
2 流動資産	3,275,620,184	3,564,301,617	3,258,308,380
(1) 現金預金	2,044,007,753	2,184,297,925	2,042,205,630
(2) 未収金	1,101,408,876	1,335,903,083	1,184,923,808
(3) 貯蔵品	35,203,555	44,100,609	31,178,942
(4) 貸付金	0	0	0
(5) その他流動資産	95,000,000	0	0
3 繰延勘定	990,726,545	850,617,708	766,371,386
(1) 開発費	287,267,511	129,285,516	70,272,820
(2) 退職給与金	479,020,999	512,207,405	509,174,546
(3) 控除対象外消費税	224,438,035	209,124,787	186,924,020

	17年度	18年度	19年度
[負債の部]	716,418,047	922,349,944	718,356,004
4 固定負債	0	0	0
(1) 引当金	0	0	0
イ修繕費引当金	0	0	0
ロ退職給与引当金	0	0	0
5 流動負債	716,418,047	922,349,944	718,356,004
(1) 未払金	709,021,516	910,810,178	704,730,080
(2) 一時借入金	0	0	0
(3) その他流動負債	7,396,531	11,539,766	13,625,924
[資本の部]	16,880,584,585	16,586,994,438	16,234,568,318
6 資本金	13,002,504,853	12,712,146,427	12,894,339,906
(1) 自己資本金	575,903,782	575,903,782	835,953,483
(2) 借入資本金	12,426,601,071	12,136,242,645	12,058,386,423
イ他会計借入金	1,603,220,000	1,603,220,000	1,603,220,000
ロ企業債	10,823,381,071	10,533,022,645	10,455,166,423
ハ特定資金公共投資事業債	0	0	0
7 剰余金	3,878,079,732	3,874,848,011	3,340,228,412
(1) 資本剰余金	5,373,740,056	5,695,663,056	6,658,720,296
イ受贈財産評価額	32,123,300	32,123,300	33,536,550
ロ寄附金	16,483,438	16,483,438	24,057,718
ハ補助金	806,223,000	819,223,000	937,047,300
ニその他資本剰余金	4,518,910,318	4,827,833,318	5,664,078,728
(2) 欠損金	1,495,660,324	1,820,815,045	3,318,491,884
イ当年度未処理欠損金	1,495,660,324	1,820,815,045	3,318,491,884
負債・資本合計	17,597,002,632	17,509,344,382	16,952,924,322

(8) 経営分析に関する調

()は前年度数値

団体名	飯 田 市		病院名	飯 田 市 立 病 院		
項 目	算 出 基 礎			数値・単位	増減率	
1病床利用率	(1)一 般	年延一般入院患者数 (132,369) × 100		(92.5)		
		年延一般病床数 (147,498)		89.7 %	-3.0	
	(2)結 核	年延結核入院患者数 () × 100		()		
		年延結核病床数 ()		%		
	(3)伝 染	年延伝染入院患者数 (0) × 100		(0.0)		
(4)計	年延入院患者数 (132,369) × 100		(91.6)			
	年延総病床数 (148,962)		88.9 %	-2.9		
2 患 者 数	(1)一日平均 患者数	ア 入 院	年延入院患者数 (132,369)	(372.6)		
			366 (366)	361.7 人	-2.9	
	イ 外 来	年延外来患者数 (247,327)	(1,018.1)			
		診療日数 (245)	1,009.5 人	-0.8		
	(2)外来入院患者比率	年延外来患者数 (247,327) × 100		(183.4)		
		年延入院患者数 (132,369)		186.8 %	1.9	
	(3)職員一人 一日当り 患者数	ア 医 師	入 院	年延入院患者数 A (132,369)	(4.5)	
				年延医者数 D (31,537)	4.2 人	-6.7
		イ 外 来	年延外来患者数 B (247,327)	(8.3)		
			D (31,537)	7.8 人	-6.0	
イ看護部門 職員		入 院	A (132,369)	(1.2)		
			年延看護部門職員数E (117,579)	1.1 人	-8.3	
	イ 外 来	B (247,327)	(2.1)			
E (117,579)		2.1 人	0.0			
3 収 入	(1)患者一人 一日当り 診療収入	ア 入 院	入院収益 (5,805,432)	(41,759)		
			A (132,369)	43,858 円	5.0	
		うち投薬注射収入	投薬注射収入 (655,217)	(4,626)		
			A (132,369)	4,950 円	7.0	
		うち検査収入	検査収入 (247,618)	(1,863)		
			A (132,369)	1,871 円	0.4	
		うちX線収入	X線収入 (174,642)	(1,289)		
			A (132,369)	1,319 円	2.3	
	イ 外 来	外来収益 (2,212,381)	(8,563)			
		B (247,327)	8,945 円	4.5		
		投薬注射収入 (413,354)	(1,504)			
		B (247,327)	1,671 円	11.1		
		検査収入 (530,915)	(2,199)			
B (247,327)	2,147 円	-2.4				
うちX線収入	X線収入 (464,910)	(1,750)				
B (247,327)	1,880 円	7.4				
(2)職員一人 一日当り 診療収入	ア 医 師	入院外来収益 C (8,017,813)	(260,562)			
		D (31,537)	254,235 円	-2.4		
	イ 看護部門職員	C (8,017,813)	(66,290)			
		E (117,579)	68,191 円	2.9		

*年延一般入院患者数=在院患者数123,188人+退院患者数9,181人

項 目			算 出 基 礎		数値・単位	増減率
(3)職員一人当り医業収入			医業収入 (8,629,045)		(18,345,319)	
			損益勘定所属職員数 (486)		17,755,237 円	-3.2
4	(1)患者一人 一日当り 薬品費	ア 投 薬	投薬薬品費 (160,685)		(441)	
			A + B (379,696)		423 円	-4.1
		イ 注 射	注射薬品費 (783,168)		(1,857)	
			A + B (379,696)		2,063 円	11.1
ウ 計	薬 品 費 (943,853)		(2,298)			
		A + B (379,696)		2,486 円	8.2	
(2)入院患者一人一日当り給食材料費		給食材料費 (69,628)		(518)		
		A (132,369)		526 円	1.5	
用	(3)使用効率	ア 投薬薬品分	薬品収入(投薬分) (235,806) × 100		(147.8)	
			投薬薬品費 (160,685)		146.8 %	-0.7
	イ 注射薬品分	薬品収入(注射分) (832,765) × 100		(105.2)		
		注射薬品費 (783,168)		106.3 %	1.0	
(4)医療材料消費率		医療材料費 (2,069,368) × 100		(25.2)		
		入院外来収益 (8,017,813)		25.8 %	2.4	
5診療収入に 対する割合	(1)投薬注射収入	投薬注射収入 (1,068,571) × 100		(12.9)		
		C (8,017,813)		13.3 %	3.1	
	(2)検査収入	検査収入 (778,533) × 100		(10.3)		
		C (8,017,813)		9.7 %	-5.8	
(3)X線収入	X線収入 (639,552) × 100		(7.8)			
	C (8,017,813)		8.0 %	2.6		
6 医 業 収 対 益 す に る 割 合	(1)医療材料費	薬品費 (943,853) × 100		(10.6)		
		医療収益 F (8,629,045)		10.9 %	2.8	
	イ その他医療材料費	その他医療材料費 (1,125,515) × 100		(13.0)		
		F (8,629,045)		13.0 %	0.0	
ウ 計	医療材料費 (2,069,368) × 100		(23.6)			
		F (8,629,045)		24.0 %	1.7	
(2)職員給与費		職員給与費 (4,509,589) × 100		(52.9)		
		F (8,629,045)		52.3 %	-1.1	
7 検 査 の 状 況	(1)患者100人当り検査件数	年間検査件数 (734,972) × 100		(201.0)		
		年延総患者数 G (379,696)		193.6 件	-3.7	
	(2)患者100人当りX線件数	年間X線件数 (78,008) × 100		(19.3)		
		G (379,696)		20.5 件	6.2	
	(3)検査技師1人当り検査件数	年間検査件数 (734,972)		(32,287.1)		
		年度末検査技師数H (21.8)		33,714.3 件	4.4	
(4)検査技師1人当り検査収入	検査収入 (778,533)		(33,419)			
	H (21.8)		35,713 千円	6.9		
(5)放射線技師一人当り検査件数	年間X線件数 (78,008)		(4,660.1)			
	年度末放射線技師数I (17.0)		4,588.7 件	-1.5		
(6)放射線技師一人当りX線収入	X線収入 (639,552)		(38,234)			
	I (17.0)		37,621 千円	-1.6		
8 室 料	(1)入院収益に対する室料差額収入割合	室料差額収入 (33,353) × 100		(0.7)		
		入院収益 (5,805,432)		0.6 %	-14.3	
(2)経常収益に対する室料差額収入割合		室料差額収入 (33,353) × 100		(0.5)		
		経常収益 (9,436,907)		0.4 %	-20.0	

項 目		算 出 基 礎	数値・単位	増減率
差 額	(3) 室料差額対象病床対総病床数の割合	室料差額対象病床数 (50) × 100	(16.5)	
		総病床数 (407)	12.3 %	-25.5
9病床100床 当り職員数	(1) 医 師	年度末医師数 (85.4) × 100	(19.1)	
		年度末病床数 J (407)	21.0 人	9.9
	(2) 看護部門職員	年度末看護職員数 (324.7) × 100	(72.2)	
		J (407)	79.8 人	10.5
	(3) 薬剤部門職員	年度末薬剤職員数 (17.0) × 100	(3.4)	
		J (407)	4.2 人	23.5
	(4) 事務部門職員	年度末事務職員数 (53.2) × 100	(13.0)	
		J (407)	13.1 人	0.8
(5) 給食部門職員	年度末給食職員数 (33.2) × 100	(7.0)		
	J (407)	8.2 人	17.1	
(6) 医療技術員	年度末医療技術員数 (38.8) × 100	(9.5)		
	J (407)	9.5 人	0.0	
(7) その他職員	年度末その他職員数 (32.6) × 100	(6.3)		
	J (407)	8.0 人	27.0	
(8) 全職員	年度末全職員数 (584.9) × 100	(130.7)		
	J (407)	143.7 人	9.9	

(9) 財務分析に関する調

()は前年度数値

項 目	算 出 基 礎	比 率	増減率
1固定資産構成比率	固定資産 (12,928,245) ×100	(75.1)	
	固定資産 (12,928,245) + 流動資産 (3,258,308) + 繰延勘定 (766,371)	76.3	1.6
2固定負債構成比率	固定負債 (0) + 借入資本金 (12,058,387) ×100	(71.0)	
	負債資本合計 (16,952,924)	71.1	0.1
3自己資本構成比率	自己資本金 (835,953) + 剰余金 (3,340,228) ×100	(23.4)	
	負債資本合計 (16,952,924)	24.6	5.1
4固定資産対長期資本比率	固定資産 (12,928,245) ×100	(82.9)	
	資本金 (12,894,340) + 剰余金 (3,340,228) + 固定負債 (0)	79.6	-4.0
5固定比率	固定資産 (12,928,245) ×100	(334.1)	
	自己資本金 (835,953) + 剰余金 (3,340,228)	309.6	-7.3
6流動比率	流動資産 (3,258,308) ×100	(359.1)	
	流動負債 (718,356)	453.6	26.3
7酸性試験比率	現金預金 (2,042,205) + 未収金 (1,184,924) ×100	(354.8)	
	流動負債 (718,356)	449.2	26.6
8現金比率	現金預金 (2,042,205) ×100	(217.7)	
	流動負債 (718,356)	284.3	30.6
9減価償却率	当年度減価償却費 (777,516)	(8.0)	
	固定資産 (12,928,245) - 土地・建設仮勘定 (4,399,021) + 当年度減価償却費 777,516)	9.1	13.8
10未収金回転率	営業収益 (8,629,045) - 受託工事収益 ()	(6.3)	
	{期首未収金 (1,402,497) + 期末未収金 (1,184,924)} ×0.5	6.7	6.3
11固定資産回転率	営業収益 (8,629,045)	(0.6)	
	{期首固定資産 (14,246,533) + 期末固定資産 (12,928,245)} ×0.5	0.6	0.0
12総収支比率	総収益 (9,436,907) ×100	(96.6)	
	総費用 (9,685,061)	97.4	0.8
13経常収支比率	経常収益 (9,436,907) ×100	(96.6)	
	経常費用 (9,685,061)	97.4	0.8
14営業収支比率	営業収益 (8,629,045) - 受託工事収益 () ×100	(98.5)	
	営業費用 (8,781,233) - 受託工事費用 ()	98.3	-0.2
15利子負担率	支払利息 (439,739) + 企業債取扱諸費 () ×100	(3.2)	
	企業債 (10,455,167) + 他会計借入金 (1,603,220) + 一時借入金 (0)	3.6	12.5
16対減価償却額比率	企業債償還元金 建設改良のための企業債償還元金 (1,196,139) ×100	(116.3)	
	当年度減価償却費 (777,516)	153.8	32.2
17 料 金 収 入 に 対 し て	建設改良のための企業債元利償還金 (1,635,878) ×100	(17.1)	
	料金収入 (8,017,813)	20.4	19.3
18 割 合	企業債利息 (439,739) ×100	(5.4)	
	料金収入 (8,017,813)	5.5	1.9
19 合	建設改良のための企業債償還元金 (1,196,139) ×100	(11.7)	
	料金収入 (8,017,813)	14.9	27.4
20 合	職員給与費 (4,509,589) ×100	(56.5)	
	料金収入 (8,017,813)	56.2	-0.5
18職員1人当り営業収益	営業収益 (8,629,045)	(18,345)	
	損益勘定所属職員数 (486)	17,755	-3.2
19有形固定資産	職員1人当り 期末有形固定資産 (12,925,737)	(31,306)	
	損益勘定所属職員数 (486) + 資本勘定所属職員数 (0)	26,596	-15.0
20経常損失比率	経常損失 (248,154) ×100	(0.0)	
	営業収益 (8,629,045) - 受託工事収益 ()	0.0	0.0
21累積欠損金比率	累積欠損金 (-3,318,492) ×100	(-23.9)	
	営業収益 (8,629,045) - 受託工事収益 ()	-38.5	0.0
22不良債務比率	流動負債 (718,356) - {流動資産 (3,258,308) - 翌年度繰越財源} ×100	(0.0)	
	営業収益 () - 受託工事収益 ()	0.0	0.0

※ 指標の解説

1固定資産構成比率	総資産に対する固定資産の比率で、低い値が良いとされる。事業の安定性の指標。
2固定負債構成比率	総資産に対する固定負債の比率で、低い値が良いとされる。事業の安定性の指標。
3自己資本構成比率	総資本に対する自己資本の比率で、高い値が良いとされる。事業の安定性の指標。
4固定資産対長期資本比率	固定資産が、どの程度、長期資本によって調達されているかを示す比率で、常に100%以下で、かつ、低い値が良いとされる。
5固定比率	自己資本に対する固定資産の比率。固定資産は、1年以上にわたり使用される資産であることから、この調達源泉は、返済期限のない自己資本で賄うのが、安全な財務措置といえる。低い値が良いとされる。
6流動比率	流動負債に対する流動資産の比率。短期的な負債に対する支払いのための資金がどれくらいあるかを見る比率で、高い値ほど運転資金があると判断できる。
7酸性試験比率	流動負債に対する当座資産の比率。流動性を判断する指標で、100%以上であることが望ましい。
8現金比率	流動負債に対する現金、預金の比率。短期的な支払能力を表す。酸性試験比率と似ているが、その中で最も確実な支払手段のみを考慮している。100%以上が望ましい。
9減価償却率	減価償却である固定資産のうち、当年度に減価償却される割合を示す。固定資産に投下された資本の回収状況を判断する指標で、数値が大きいほど投下資本が貨幣性資産として回収され、資本として内部留保されることを示す。
10未収金回転率	未収金が収益によって何回転しているかを示す。未収金の回転状況を判断する指標で、数値が大きいほど未収期間が短く、未収金が早く回収されていることを示す。
11固定資産回転率	固定資産が収益によって何回転しているかを示す。数値が大きいほど施設などの固定資産が有効に稼働していることを示す。
12総収支比率	総費用に対する総収益の比率。損益計算上、総体の収益で総体の費用をまかなうことができるかどうかを示す。100%以上が良いとされる。
13経常収支比率	経常費用に対する経常収益の比率を示す。100%を超える場合は単年度黒字を、100%未満の場合は単年度赤字を示すことになる。
14営業収支比率	営業費用に対する営業収益の割合を示す。数値が100%未満の場合には健全経営とはいえない。
15利子負担率	数値が小さいほど低利の借入金を利用していることになる。
16企業債償還元金対減価償却額比率	減価償却に対する企業債償還元金の割合を示す。内部留保資金である減価償却費で、企業債償還元金が賄われているかどうかをみるものであり、数値が小さいほど資金的に余裕があるということになる。
17料金に対する割合	
企業債元利償還金	料金収入に対する企業債元利償還金の割合を示す。企業債償還元金がどの程度経営の圧迫要因となっているかを示すもので、数値が小さいほどよい。
企業債利息	料金収益に対する企業債利息の割合を示す。企業債利息がどの程度経営の圧迫要因となっているかを示すもので、数値が小さいほどよい。
企業債償還元金	料金収入に対する企業債償還元金の割合を示す。企業債償還元金がどの程度経営の圧迫要因となっているかを示すもので、数値が小さいほどよい。
職員給与費	料金収益に対する職員給与費の割合を示す。職員給与費がどの程度経営の圧迫要因となっているかを示すもので、数値が小さいほどよい。
18職員1人当り営業収益	労働生産性を示す。主たる営業活動として行う財貨・サービスの提供の対価としての収入が、職員一人当たりどれだけの収益を得ているかを示すもので、数値が大きいほどよい。
19職員1人当り有形固定資産	労働生産性を示す。固定資産のうち土地、償却資産、建設仮勘定などの有形固定資産が、職員一人当たりどの程度あるかを示すもので、数値が大きいほどよい。
20経常損失比率	営業収益に対する経常損失の割合を示す。数値が大きいほど、その企業固有の事業の収益性の低さが指摘される。
21累積欠損金比率	営業収益に対する累積欠損金の割合を示す。数値が大きいほど経営が悪化していることを示す。
22不良債務比率	営業収益に対する不良債務の割合を示す。数値が大きいほど経営状況が悪化していることを示す。

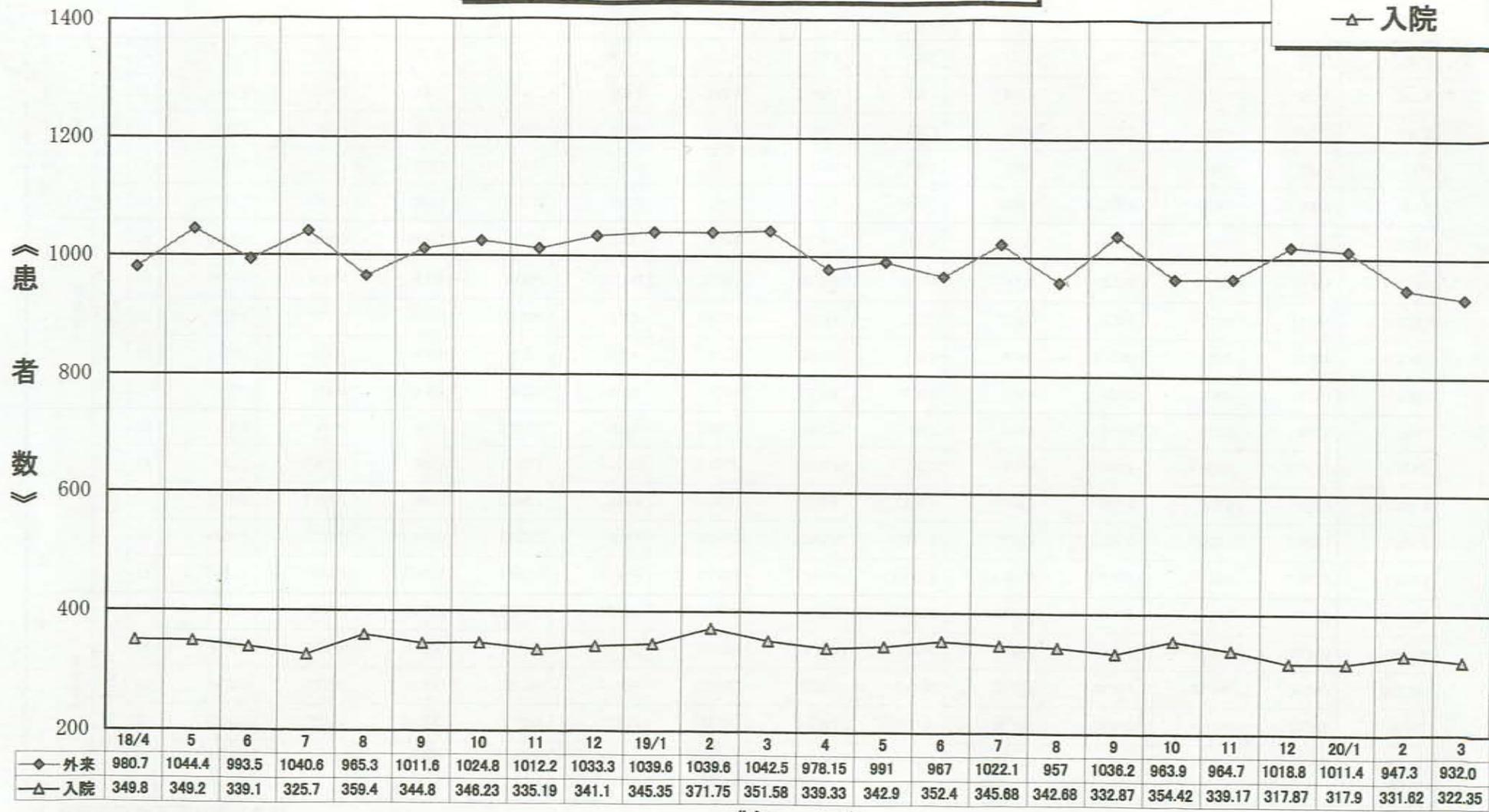
8. 業務の状況

(1) 飯田市立病院患者動向統計

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計		
外 来	総患者数	平成	15	21,996	22,930	22,024	23,925	22,151	22,662	23,696	20,624	22,229	21,528	19,687	23,525	266,977
			16	21,075	19,868	22,149	21,655	21,534	21,283	20,932	21,479	21,418	20,444	19,618	23,376	254,831
			17	20,300	20,135	21,675	20,334	22,283	19,845	20,331	20,630	20,156	19,653	19,068	21,383	245,793
			18	19,613	20,888	21,858	20,812	22,202	20,231	21,520	20,244	20,666	19,752	19,752	21,893	249,431
			19	19,563	20,811	20,307	21,464	22,011	18,652	21,205	20,258	19,358	19,217	18,946	18,640	240,432
	一日平均	平成	15	1,047.4	1,091.9	1,048.8	1,087.5	1,054.8	1,133.1	1,077.1	1,145.8	1,169.9	1,133.1	1,036.2	1,022.8	1,085.3
			16	1,003.6	1,103.8	1,006.8	1,031.2	978.8	1,064.2	1,046.6	1,074.0	1,127.3	1,076.0	1,032.5	1,062.5	1,048.7
			17	1,015.0	1,059.7	985.2	1,016.7	968.8	992.3	1,016.6	1,031.5	1,060.8	1,034.4	953.4	972.0	1,007.3
			18	980.7	1,044.4	993.5	1,040.6	965.3	1,011.6	1,024.8	1,012.2	1,033.3	1,039.6	1,039.6	1,042.5	1,018.1
			19	978.2	991.0	967.0	1,022.1	957.0	1,036.2	963.9	964.7	1,018.8	1,011.4	947.3	932.0	981.4
入 院	総患者数	平成	15	9,131	8,898	9,401	9,726	9,411	9,434	10,451	10,010	9,909	9,603	9,808	9,301	115,083
			16	9,337	9,616	9,646	9,541	9,386	9,326	10,512	9,758	9,942	10,288	9,697	11,418	118,467
			17	10,538	10,529	10,050	10,069	9,237	9,378	10,481	9,685	9,703	9,708	10,238	11,103	120,719
			18	10,495	10,824	10,174	10,097	11,140	10,343	10,733	10,391	10,574	10,706	10,409	10,899	126,785
			19	10,180	10,630	10,572	10,716	10,623	9,986	10,987	10,175	9,854	9,855	9,617	9,993	123,188
	一日平均	平成	15	304.4	287.0	313.4	313.7	303.6	314.5	337.1	333.7	319.6	309.8	338.2	300.0	314.4
			16	311.2	310.2	321.5	307.8	302.8	310.9	339.1	325.3	320.7	331.9	346.3	368.3	324.6
			17	351.3	339.6	335.0	324.8	298.0	312.6	338.1	322.8	313.0	313.2	365.6	358.2	330.7
			18	349.8	349.2	339.1	325.7	359.4	344.8	346.2	335.2	341.1	345.4	371.8	351.6	347.4
			19	339.3	342.9	352.4	345.7	342.7	332.9	354.4	339.2	317.9	317.9	331.6	322.4	336.6

月別一日平均患者数 (市立病院)

◆ 外来
△ 入院



(2) 各科業務量

(平成19年度)

ア 入 院																						
区分 月	内	神	循	小	外	整	脳	泌	皮	産	眼	耳	放	麻	透	形	歯	ド	一	伝	入	
	科	経	環	児	科	形	神	尿	膚	婦	科	鼻	射	酔	析	成	科	ッ	般	染	院	
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	円
4	2,045	689	741	653	1,816	1,218	635	238	0	930	202	404	85	0	48	376	100	0	10,180	0	486,233,100	
5	2,180	757	764	611	1,795	1,511	700	285	0	921	206	324	128	0	7	359	82	0	10,630	0	491,804,362	
6	2,083	859	503	571	1,923	1,580	686	336	0	947	202	333	163	0	9	309	68	0	10,572	0	496,875,146	
7	2,080	918	454	654	1,835	1,320	742	339	0	1,168	249	386	169	0	21	304	77	0	10,716	0	506,878,975	
8	2,028	825	433	623	1,895	1,316	770	442	0	1,118	223	401	135	0	32	296	86	0	10,623	0	499,972,187	
9	1,961	675	546	673	1,634	1,353	619	324	0	1,132	143	387	180	0	45	271	43	0	9,986	0	460,714,551	
10	2,163	674	523	800	1,809	1,592	791	374	0	1,024	195	384	224	10	31	276	117	0	10,987	0	535,827,894	
11	1,748	737	655	537	2,141	1,334	523	331	0	939	78	463	289	0	8	263	129	0	10,175	0	479,355,349	
12	1,790	754	554	565	1,987	1,360	640	210	0	813	102	418	251	0	21	297	92	0	9,854	0	453,064,637	
1	2,174	602	710	541	1,740	1,215	641	202	0	960	97	289	204	0	44	296	140	0	9,855	0	489,913,358	
2	2,178	658	924	430	1,628	1,151	601	340	0	968	0	241	143	0	17	225	113	0	9,617	0	467,748,077	
3	2,198	857	932	633	1,673	1,067	624	319	0	927	0	251	84	1	22	259	146	0	9,993	0	437,044,086	
計	24,628	9,005	7,739	7,291	21,876	16,017	7,972	3,740	0	11,847	1,697	4,281	2,055	11	305	3,531	1,193	0	123,188	0	5,805,431,722	

イ 外 来

(平成19年度)

区分 月	内	神	循	小	外	整	脳	泌	皮	産	眼	耳	放	麻	透	形	歯	ド	患	者高	外		
	科	経	環	児	科	形	神	尿	膚	婦	科	鼻	射	酔	析	成	科	ッ	者	松	来		
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	円
4	3,745	836	1,300	1,434	1,831	2,182	446	851	839	1,249	1,416	1,142	570	8	500	679	351	184	19,563	547	171,366,862		
5	3,879	937	1,304	1,789	2,010	2,319	439	940	965	1,285	1,477	1,131	453	11	511	775	366	220	20,811	501	181,484,447		
6	3,905	847	1,288	1,584	2,014	2,325	438	844	1,011	1,373	1,420	1,045	388	12	510	749	328	226	20,307	568	182,041,461		
7	4,232	1,003	1,352	1,554	2,231	2,275	476	869	1,115	1,453	1,392	1,101	506	15	572	773	318	227	21,464	573	188,225,216		
8	4,093	915	1,358	1,631	2,248	2,561	479	974	1,210	1,465	1,513	1,038	504	9	630	855	315	217	22,015	626	198,620,058		
9	3,589	824	1,154	1,299	1,969	2,218	394	818	967	1,294	1,213	858	363	6	544	662	278	202	18,652	501	169,877,126		
10	4,231	943	1,410	1,599	2,213	2,352	485	912	1,029	1,396	1,245	971	443	13	578	801	339	245	21,205	654	194,671,461		
11	4,052	892	1,342	1,552	2,142	2,185	480	833	960	1,254	1,186	975	492	14	558	741	365	235	20,258	654	186,788,633		
12	3,913	845	1,247	1,567	2,017	2,084	425	834	891	1,250	1,116	906	438	11	599	689	333	193	19,358	611	184,500,453		
1	3,774	903	1,283	1,572	1,883	2,100	413	852	829	1,340	983	901	513	9	593	722	338	209	19,217	530	186,125,838		
2	3,553	786	1,198	1,469	1,934	2,083	445	811	838	1,288	1,036	967	680	7	588	666	374	223	18,946	562	184,989,126		
3	3,243	876	1,187	1,496	1,980	2,299	393	844	918	1,288	489	959	727	14	606	724	376	221	18,640	564	183,690,481		
計	46,209	10,607	15,423	18,546	24,472	26,983	5,313	10,382	11,572	15,935	14,486	11,994	6,077	129	6,789	8,836	4,081	2,602	240,436	6,891	2,212,381,162		

ウ-1 時間外救急患者数

平成19年度

日・当 指定日	当 直															日 直												
	通常日							輪番日								通常日						2次救急日・在宅当番						
月	日数	初診	再来	合計	入院	救車	入院	日数	初診	再来	合計	入院	救車	入院	日数	初診	再来	合計	入院	救車	入院	日数	初診	再来	合計	入院	救車	入院
4月	18	148	159	307	83	58	32	12	293	155	448	73	61	26	7	76	136	212	33	27	10	3	57	61	118	9	12	4
5月	19	131	173	304	66	51	25	12	317	161	478	72	60	27	6	48	96	144	30	20	12	3	237	116	353	22	16	9
6月	19	143	155	298	62	57	25	11	287	148	435	70	61	32	6	63	108	171	21	16	8	3	68	63	131	14	10	4
7月	18	144	158	302	74	45	20	13	370	164	534	91	78	46	6	73	97	170	27	23	10	4	144	89	233	28	11	5
8月	20	139	167	306	78	62	29	11	307	136	443	78	62	22	6	53	101	154	29	20	7	2	53	39	92	13	16	6
9月	19	121	208	329	86	62	31	11	288	143	431	65	55	23	8	78	128	206	30	18	7	4	114	90	204	26	22	9
10月	20	131	141	272	75	60	32	11	230	116	346	64	63	23	6	47	86	143	32	27	15	3	85	62	147	24	16	6
11月	19	127	146	273	66	50	25	11	217	129	346	69	58	25	4	29	81	110	16	12	6	5	156	118	274	29	33	10
12月	21	142	131	273	71	58	29	10	238	103	341	42	49	11	8	68	169	237	40	25	13	4	159	115	274	30	23	14
1月	21	137	178	315	83	62	29	10	216	125	341	63	53	23	6	50	115	165	33	20	9	6	230	154	384	34	35	12
2月	19	96	148	244	75	51	27	10	185	89	274	43	51	16	5	33	76	109	17	9	9	4	125	78	203	18	20	8
3月	20	111	130	241	65	48	22	11	196	126	322	58	48	22	7	50	102	152	22	19	10	4	48	50	98	11	13	5
合計	233	1570	1894	3464	884	664	326	133	3144	1595	4739	788	699	296	75	668	1295	1973	330	236	116	45	1476	1035	2511	258	227	92
月平均	19.4	130.8	157.8	288.7	73.7	55.3	27.2	11.1	262.0	132.9	394.9	65.7	58.3	24.7	6.3	55.7	107.9	164.4	27.5	19.7	9.7	3.8	123.0	86.3	209.3	21.5	18.9	7.7
H19・1日平均		6.5	7.9	14.4	3.7	2.8	1.4		25.4	12.9	38.3	6.4	5.7	2.4		10.5	20.4	31.0	5.2	3.7	1.8		27.3	19.2	46.5	4.8	4.2	1.7

ウ-2 時間外救急患者数

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
総数	13,998	12,980	14,575	14,121	14,187	12,687
初診	5,756	6,218	7,280	7,487	7,738	6,858
再来	8,242	6,755	7,295	6,634	6,449	5,819
入院	1,614	1,698	1,888	2,093	2,401	2,264
内 ICU入院	127	144	138	165	194	196
救急車	1,153	1,278	1,541	1,662	1,717	1,826
ヘリ	15	14	18	15	45	46
内入院	523	554	640	808	810	829
死亡(DOA)	46	62	65	48	50	33

24時間救急車情報

救急車(ヘリを含む)	1,937	2,130	2,477	2,714	2,703	2,906
入院(再掲)	887	1,001	1,218	1,403	1,154	1,448

エ-1 年度別手術件数

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
外科	837	818	832	892	887	919
整形外科	775	713	666	761	679	723
脳神経外科	141	147	92	108	139	118
(心臓血管外科)	85	72	68	45	30	0
泌尿器科	174	120	141	138	122	121
産婦人科	512	494	483	487	417	434
眼科	774	528	315	419	563	412
耳鼻咽喉科	187	136	158	161	162	163
皮膚科	14	15	17	3	6	0
形成外科	522	514	499	530	599	600
歯科口腔外科	78	84	71	86	78	66
内科		2	1	1	1	0
麻酔科				4	4	29
計	4,099	3,643	3,343	3,635	3,687	4,063

エ-2 がん年度別手術件数

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
肺がん	13	12	18	21	22
胃がん	69	90(10)	88(22)	89(16)	111(27)
肝がん	16	25	11	6	8
大腸がん	73	93(21)	76(13)	82(13)	96(20)
乳がん	73	53	66	68	96
子宮がん	18	16	30	20	25
その他のがん	265	248	205	178	168

()内は内視鏡手術施行例

才 血管造影件数

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
循環器科	604	464	444	458	404	387
放射線科	141	147	133	92	70	90
脳神経外科	52	56	61	54	50	27
他科	3			25	15	73
計	800	667	638	629	539	577

力 年度別分娩件数

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
経膈分娩	375	388	344	366	770	755
帝王切開	167	151	158	186	233	256
計	542	539	502	552	1,003	1,011

キ 年度別人工透析件数

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
透析件数	7,022	6,479	5,937	6,347	6,868	6,967

ク 年度別病理解剖数

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
死亡数(人)	337	330	350	479	474	493
病理解剖(件)	9	6	5	13	10	12

ケ 放射線部年度別検査等件数

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
一般撮影	39,370	38,157	38,111	39,038	42,073
X-TV	2,053	1,900	1,954	1,779	1,775
CT	8,990	8,807	10,389	10,961	11,225
RI	1,090	889	920	601	636
PET-CT				503	714
LINAC	6,174	6,689	5,232	8,062	6,605
RALS	38	38	39	48	34
MRI	3,933	3,779	3,510	3,596	3,628
超音波	8,431	8,812	9,447	9,760	10,490
血管撮影	647	615	578	552	580
計	70,726	69,686	70,180	74,900	77,760

コ 年度別給食数

種別 \ 年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
普通食	199,595	185,498	189,353	192,026	198,998	189,250
特別食	110,420	100,151	109,249	108,662	110,107	111,001
計	310,015	285,649	298,602	300,688	309,105	300,251

サ 年度別調剤件数

年度	外来			入院		
	枚数	件数	剤数	枚数	件数	剤数
10年度	176,810	428,454	6,351,742	34,174	60,939	454,783
11年度	179,039	434,583	6,457,744	35,361	63,521	479,288
12年度	187,533	445,149	6,962,677	37,881	69,597	524,154
13年度	194,269	504,220	8,017,842	40,156	79,835	568,466
14年度	62,741 (116,291)	161,156	2,234,041 (90.6)	40,481	79,524	543,756
15年度	20,152 (136,190)	41,678	403,260 (92.5)	39,183	71,481	542,429
16年度	20,166 (127,103)	40,633	397,743 (86.3)	41,207	71,129	550,611
17年度	20,392 (118,345)	41,892	417,892 (85.4)	42,522	72,507	531,870
18年度	20,700 (117,109)	42,342	438,428 (85.0)	37,122	66,826	570,391
19年度	18,187 (109,136)	36,856	411,589 (85.7)	35,104	64,605	566,747

()内は院外処方箋発行枚数及び発行率

シ 年別治験取扱い件数

年度	第Ⅱ相	第Ⅲ相	第Ⅳ相	第Ⅳ相(市販後臨床試験)
10年度		1	11	
11年度	1		3	1
12年度	4		9	1
13年度	2	1	17	3
14年度	4	1	18	5
15年度			25	3
16年度			12	3
17年度		1	12	3
18年度		1	18	3
19年度			29	6

ス リハビリテーション科患者数

年度別単位数

年度		P T	O T	S T	合計
外来	H 1 5	13,872	6,685	3,989	24,546
	H 1 6	13,597	6,757	3,449	23,803
	H 1 7	12,648	8,353	3,763	24,764
	H 1 8	10,742	8,327	4,118	23,187
	H 1 9	11,191	8,003	4,344	23,583
入院	H 1 5	18,153	5,434	3,631	27,218
	H 1 6	18,407	6,524	3,648	28,579
	H 1 7	18,277	6,858	3,685	28,820
	H 1 8	20,796	7,982	4,830	33,608
	H 1 9	24,686	8,466	6,089	39,241
合計	H 1 5	32,025	12,119	7,620	51,764
	H 1 6	32,004	13,281	7,097	52,382
	H 1 7	30,925	15,211	7,448	53,584
	H 1 8	31,538	16,309	8,948	56,795
	H 1 9	35,877	16,469	10,433	62,824

年度別人数

年度		P T	O T	S T	合計
外来	H 1 5	8,912	4,673	2,218	15,803
	H 1 6	8,441	6,757	3,449	18,647
	H 1 7	8,242	5,587	2,078	15,907
	H 1 8	6,867	5,801	2,147	14,815
	H 1 9	6,684	5,176	2,253	14,113
入院	H 1 5	15,068	4,335	2,751	22,154
	H 1 6	16,086	5,117	3,282	24,485
	H 1 7	16,362	5,584	3,199	25,145
	H 1 8	18,697	6,386	4,649	29,732
	H 1 9	20,808	6,202	4,542	31,552
合計	H 1 5	23,980	9,008	4,969	37,957
	H 1 6	24,527	11,874	6,731	43,132
	H 1 7	24,527	11,874	6,731	43,132
	H 1 8	25,564	12,187	6,796	44,547
	H 1 9	27,492	11,378	6,795	45,665

年度		脳血管リハ	運動器リハ	心血管リハ	呼吸器リハ	合計
外来	H 1 8	14,890	7,989	10	8	22,897
	H 1 9	15,072	8,271	35	12	23,421
入院	H 1 8	20,596	10,985	841	279	32,701
	H 1 9	25,737	11,633	1,105	680	39,169
合計	H 1 8	35,486	18,974	851	287	55,598
	H 1 9	40,896	19,904	1,140	691	62,732

セ 検査科年度別集計

年度別件数

年度	一般	血液	生化	血清	細菌	病理	生理	外注
15年度	48,343	108,884	723,671	64,589	13,468	9,420	33,988	52,274
16年度	45,573	105,944	124,217	74,907	17,712	8,935	30,752	37,282
17年度	42,818	114,323	140,986	80,500	13,464	8,084	30,329	42,997
18年度	40,937	123,341	155,930	87,378	14,549	6,828	31,848	45,516
19年度	43,192	128,721	160,246	91,017	14,762	6,995	31,071	33,084

年度別点数

年度	一般	血液	生化	血清	細菌	病理	生理	外注
15年度	1,329,590	3,430,080	18,722,931	6,781,066	1,674,302	5,527,079	12,534,120	7,823,786
16年度	1,199,022	3,145,065	8,072,834	8,041,069	1,839,963	5,083,501	11,496,500	4,827,237
17年度	1,116,950	3,535,848	8,876,538	8,750,714	1,611,729	4,963,272	11,120,910	5,542,191
18年度	1,065,069	3,454,736	8,803,024	8,700,598	1,648,996	4,634,154	11,318,040	5,449,041
19年度	1,118,648	3,551,376	8,869,334	9,477,619	1,666,860	4,924,412	11,035,260	4,492,577

ソ 訪問看護ステーション利用状況

年度	利用者	訪問回数	内時間外
15年度	138	4,187	227(訪問 94 電話133)
16年度	153	4,088	364(訪問124 電話240)
17年度	136	4,280	597(訪問254 電話343)
18年度	140	4,519	608(訪問281 電話327)
19年度	113	4,678	453(訪問183 電話270)

タ 訪問看護・訪問診療の状況

年度	患者数	訪問回数			合計
		訪問看護	訪問診療	訪問リハ	
15年度	4	99	49		148
16年度	2	77	0		77
17年度	2	73	88		161
18年度	2	49	60	22	233
19年度	5	0	60	30	582

チ 在宅介護支援センター利用状況

年度	自立支援		在宅介護		
	委託料収入		居宅介護サービス 計画作成件数(件)	介護給付費合計 (千円)	月平均計画作成(件) 介護給付費(千円)
	一般事業費(千円)	実態把握分(千円)			
15年度	2,790	1,953	1,146	9,514	96/793
16年度	2,775	1,172	657	5,666	55/472
17年度	2,775	1,188	601	5,205	50/434
18年度	720	720	585	6,535	49/545
19年度	720	720	718	8,734	59/727

ツ 人間ドック検診数

年度	外来	入院	合計
15年度	1,947	249	2,196
16年度	2,010	210(通院2日含む)	2,220
17年度	2,464		2,464
18年度	2,008	230	2,238
19年度	2,268	259	2,527

テ 医療福祉相談内容別件数

区分 年度	経済的 医療費 制度等	受診や 入院中 療養に ついて	在宅療 養につ いて	退院、 転院、 施設利 用につ いて	社会復 帰につ いて	介護保 険制度 につい て	心理 的、精 神的悩 み等	その他	計
15年度	20	4	119	194	6	250	9	36	638
16年度	214	21	222	292	3	358	9	98	1,217
17年度	542	61	334	378	5	443	25	165	1,953
18年度	494	86	319	619	5	579	10	138	2,250
19年度	631	57	141	1,570	0	818	5	617	3,839

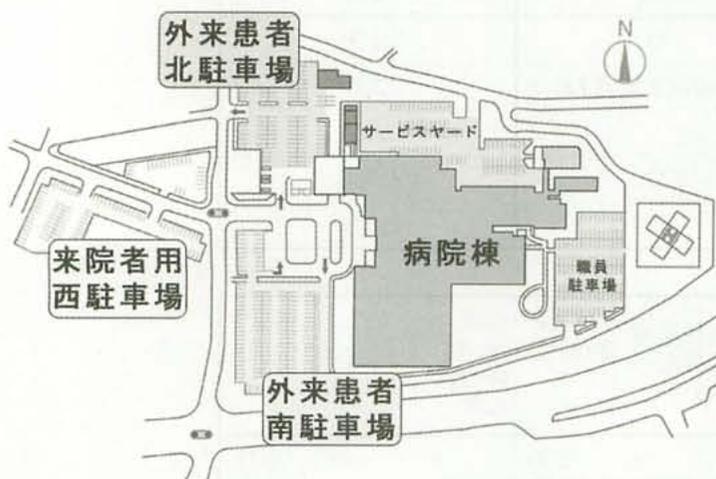
ト 紹介患者数の推移

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
15年度	574	590	672	719	684	742	718	591	636	549	550	651	7,676
16年度	722	691	763	747	831	792	742	763	729	724	656	671	8,831
17年度	627	578	768	796	885	726	772	732	734	803	822	931	9,174
18年度	821	744	933	1,000	1,004	978	960	926	884	839	865	894	10,848
19年度	841	892	865	938	1,011	871	1,065	911	911	886	843	809	10,843

ナ 逆紹介患者数の推移

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
15年度	399	411	384	444	377	361	403	312	348	299	367	484	4,589
16年度	383	305	343	358	326	341	378	321	363	316	355	438	4,227
17年度	337	342	401	381	379	341	344	359	375	325	322	431	4,337
18年度	328	362	383	352	355	332	327	340	319	375	429	483	4,385
19年度	483	530	499	537	536	475	479	500	407	490	526	538	6,000

駐車場ご利用案内

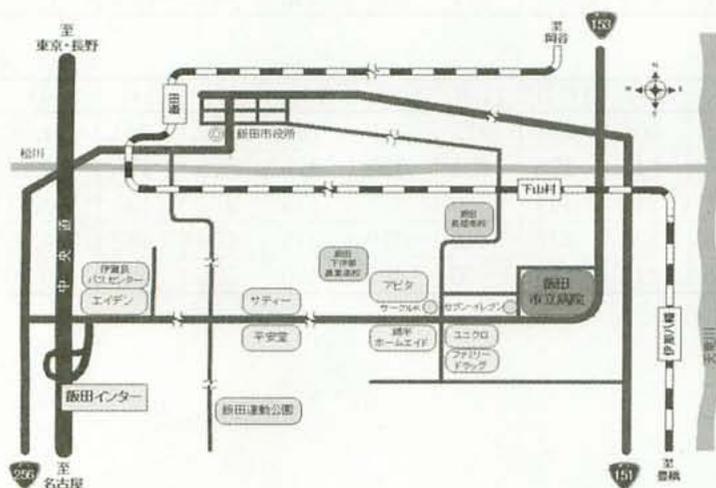


- ◎ 診察、検査の方は、北駐車場・南駐車場をご利用ください。
- ◎ 駐車料金が無料になりますので、中央受付にて駐車料金の無料化を受けてください。
- ◎ 車椅子使用者専用及び身障者駐車場（収容台数 4台）をご利用の方は、職員にお申し出ください。
- ◎ 付き添いなどご来院の方は、西駐車場をご利用ください。

	収容台数	利用時間	利用料金
南駐車場	162台	24時間	60分以内無料、以後30分ごとに100円
北駐車場	104台		診察、検査の方は無料
西駐車場	114台		無料

アクセスマップ

飯田市立病院までの各種交通手段



お車でお越しの方へ

- ・中央自動車道飯田 I.C. より車で 7分 (約 3.5km)

高速バスでお越しの方へ

- ・飯田バスセンター (飯田市内) より車で 7分
- ・伊賀良停留所 (飯田 I.C. 近く) より車で 7分

J Rでお越しの方へ

- ・J R 飯田線飯田駅 (飯田市内) より車で 10分
- ・J R 飯田線伊那八幡駅より徒歩 15分 (約 1km)

飯田市 市民バス

- ・市内循環線
 - ・飯田駅前 千代線
 - ・飯田駅前 久堅線
 - ・飯田駅前 三穂線
- 各線 市立病院バス停下車

信南交通 乗合バス

- ・富田 氏乗線
 - ・飯田 喬木大島線
 - ・市田線 (市立病院経由)
 - ・遠山郷線
- 各線 市立病院バス停下車

高速バス

- 東京方面から
- ・信南交通 新宿線
- 名古屋方面から
- ・信南交通 名古屋線



飯田市立病院

〒395-8502

長野県飯田市八幡町 438 番地

TEL.0265-21-1255(代表) FAX.0265-21-1266

<http://www.imh.jp/>